

Multilingual Electronic Newsletter

多言語メールマガジン

かごしま南の風便り



Kagoshima Southern Wind Tidings

VOL.177

▽トピックス

[1 国際交流員のコラム](#)

韓国の冷麺はいかがですか？

ー鹿児島県国際交流員 キム・ヒョジン（韓国出身）

[2 知事の動き](#)

ブラジル鹿児島県人会会長が訪問されました(2月1日)

在福岡ベトナム社会主義共和国総領事が訪問されました(2月9日)

在トリニダード・トバゴ日本国大使が訪問されました(3月17日)

[3 かごしまの情報](#)

鹿児島県でワーケーションをしてみませんか？

[4 観光かごしま旬の情報](#)

Kagoshima Glamping YOSHIZORA がオープンしました（鹿児島市）

国際交流員のコラム

連日暑い日が続いています。このような暑い夏には、冷たい食べ物が食べたくなりますよね。

今回は、暑い夏にピッタリの韓国の冷麺についてご紹介します！

韓国の冷麺は、地方によって材料や作り方が異なりますが、一般的には、そば粉とでん粉を練った麺をゆでて冷やし、冷たいスープを加え、肉・野菜・ゆで卵などをのせます。

元々、冬の食べ物であった冷麺

元々は、寒い冬にオンドル(韓国式床暖房)部屋の中で、麺に、歯にしみるほどの冷たい大根の水キムチを加えて食べる朝鮮半島北部の料理でした。北部の人たちは、かつて食べ物が希少で厳しかった冬に、救荒作物の蕎麦やジャガイモで麺を作って食べていました。これが冷麺の始まりです。

全国に広がったきっかけは…

冷麺が全国に広がり、韓国の代表的な食べ物となったのは、朝鮮戦争(1950年～1953年)後に、南部に移住した北部出身者たちを通じ、北部の食べ物が南部に伝わったからです。特に、南部に伝わって以来、スープは、牛肉や鶏肉などが使用され、麺も、サツマイモのでん粉や小麦粉などが使用されるなど、様々な変化が起こりました。

冷麺の種類

韓国の冷麺は、北朝鮮の平壤(ピョンヤン)市と咸興(ハムフン)市が発祥の地と伝わっています。平壤冷麺は、そば粉と少量のでん粉を練って麺を作り、キジのスープや大根の水キムチを加え、肉・梨・ゆで卵などをのせて食べる水冷麺です。そして、咸興冷麺は、地元で多く生産されるジャガイモのでん粉で麺を作り、麺の上に辛く和えたカレイやガンギエイなどの魚の刺身をの



北朝鮮出身者の有名シェフが作った平壤冷麺のお味は、最高でした！

せ、それを混ぜて食べるビビン冷麺(混ぜ冷麺)です。

韓国人の中でも、そば粉を主原料として噛み切りやすく、さっぱりとした冷たいスープの平壤冷麺が好きな人と、でん粉を主原料としてコシが強く、ピリ辛の咸興冷麺が好きな人に分かれます！



鹿児島市内で食べた咸興冷麺

冷麺にゆで卵がのっている理由は？

冷麺の上にのせられているゆで卵は、ただのトッピングではありません。冷麺の主な材料となる蕎麦は、体を冷やす性質を持つ食材の一つです。そのため、すきっ腹に蕎麦を食べると、胃腸に負担をかけることがあります。卵は、これを防ぎ、消化を促進させます。

水冷麺の場合は、麺よりゆで卵を先に食べると、蕎麦と冷たいスープが胃腸に負担をかけるのを防いでくれます。ただ、ビビン冷麺の場合は、最後にゆで卵を食べると、口の中に残る辛みを和らげてくれますね。

韓国式の食べ方

麺はコシが強いので、まず、麺をハサミで食べやすい長さに切ります。その後、テーブルの上に置かれているお酢やからしなどで、好みに合わせて味を調整します。

焼肉のシメに欠かせない、冷麺

今や夏の定番の食べ物となった冷麺は、韓国では、一品料理としても人気ですが、韓国人には、焼肉のシメとしてのイメージも強いです。こってりした焼肉のシメには、お酢入りの冷麺がピッタリでしょう。口の中をさっぱりしてくれます！

今回は、韓国の冷麺についてご紹介しました！皆さんも、韓国の冷麺一杯、いかがでしょうか。暑さを吹き飛ばして、この夏を快適に過ごせると思います！

知事の動き

●2月1日にブラジル鹿児島県人会会長が訪問されました●

ブラジル鹿児島県人会の文岡セルジオ正樹知事会長が県庁を表敬訪問されました。文岡会長からは、今年8月にブラジル・サンパウロで開催予定の「ブラジル鹿児島県人会創立110周年記念式典」の案内状をいただくとともに、県人会の活動内容や式典に併せて開催予定のPRイベント等についてのお話をいただきました。

私からは、ブラジル県人会の皆さまが、当地で鹿児島のPRをしていただいているお礼を述べるとともに、式典への出席に向けて日程調整をさせていただきたい旨とお伝えしました。

今後とも、これまで築き上げた交流をもとに、ブラジルとの交流・協力関係を一層発展させていきたいと考えております。

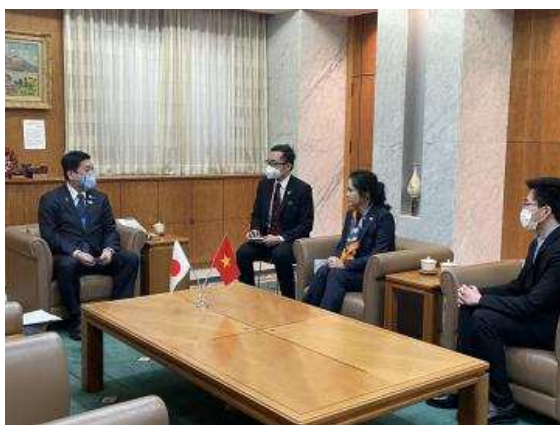


●2月9日に在福岡ベトナム社会主義共和国総領事が訪問されました●

ヴー・チ・マイ在福岡ベトナム社会主義共和国総領事が県庁を表敬訪問されました。ヴー・チ・マイ総領事からは、今年は日越外交樹立 50 周年の記念の年であることから、日本とベトナムとの文化交流や経済交流をはじめ、本県と連携協定を締結しているベトナム・ハイズオン省との交流をもっと発展させていきたいとお話いただきました。

私からは、ハイズオン省をはじめとするベトナムとの友好関係構築において、総領事館からご助力いただいていることへの感謝をお伝えするとともに、新型コロナウイルスの影響で就航が延期となっている鹿児島・ハノイ間の直行便について、今後の両国間の交流に向け、就航の実現をお願いしました。

日越外交樹立 50 周年の記念の年に、ベトナムと本県との友好がさらに深まり、人的交流、文化交流、経済交流が活発化することを期待しています。



●3月 17 日に在トリニダード・トバゴ日本国大使が訪問されました●

在トリニダード・トバゴ日本国大使館の松原大使が県庁を表敬訪問されました。松原大使からは、中南米の国々は日本に対して非常に高い関心を持っていることや、鹿児島県は、大崎町など県内 6 町が東京オリンピック・パラリンピック競技大会でカリブ諸国のホストタウンになっており、引き続きスポーツや環境分野など、幅広い交流を行っていきたいとお話いただきました。

ホストタウン登録をした町とホストタウン国との人的・経済的・文化的な相互交流が今後も継続されるよう期待しています。



かごしまの情報

●鹿児島県でワーケーションをしてみませんか？●

観光地やホテルなどでリモートワークをしながら休暇やアフターワークも楽しみたい！そんな方には、鹿児島ならではの自然や食事を楽しみながらのワーケーションはいかがですか？お仕事の後の温泉等もきっと体を癒やしてくれるでしょう。

鹿児島県では「かごしま移住ネット」を開設し、ワーケーションに関する情報だけでなく、移住に関する支援制度や体験交流、イベント等地域の情報をまとめたサイトを運用しています。詳しくは下記サイトをご参照ください。

<https://www.kagoshima-iju.jp/know/>

海外にお住まいの皆様も是非、夏休みなどを使って鹿児島に帰省や観光がてらにワーケーションでリフレッシュしてみませんか？



観光かごしま旬の情報

●Kagoshima Glamping YOSHIZORA がオープンしました●



5月27日、鹿児島県立吉野公園内にグランピング施設「Kagoshima Glamping YOSHIZORA」がオープンしました！

8棟ある宿泊施設はドーム型テントとキャビンの2タイプから選べ、それぞれ鹿児島の島々をテーマにした、こだわりの内装を楽しむことができます。

また、鹿児島の食材にこだわった食事が堪能でき、見晴らしのよい丘から桜島を望むことができます。開けた空間と見晴らしのよい自然の中で、リフレッシュしてみませんか。

Kagoshima Glamping YOSHIZORA ホームページ(<https://yoshizora.com/>)



